

福島原発事故と内部被曝 ～食と農と子どもを守ろう～

開催間近！
定員、残り
わずかです。
申し込みがお済でない
方はご連絡をお願い致し
ます。



「今、起きている事故の本当の状況は？」「食品への影響の実態」「長期の低線量内部被曝の脅威」「暫定規制値がいかに非科学であるか」等を中心に、生井兵治先生を講師にお迎えし、学習会を開催します。

『いかに被曝を抑えるか』『私たちにできることは何か』『子どもたちを守るには・・・』みなさんと一緒に学び、考えたいと思います。ぜひ、ご参加下さい。

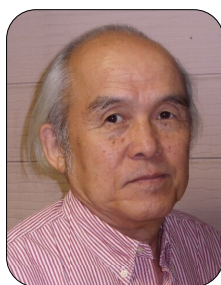
日時：2月12日(日) 午後1時30分～

会場：新井区民活動センター 洋室2・3
(旧・新井地域センター)

講演：原発事故後、「ふくしま集団疎開裁判」の原告団を支援中
元筑波大学教授・同大附属駒場中・高等学校長

生井 兵治さん

なまい・ひょうじ 1938年東京生まれ 農学博士
食の安全・監視市民委員会運営委員 日本科学者会議参与
著書「遺伝子組み換えナタネ汚染」(共著) など多数



講師への質問を受付中です。
お寄せいただいた質問は、
事前に講師へお伝えします。

報告：日本共産党中野区議会議員

浦野 さとみ

中野区における放射能問題への対応、共産党議員団の
取り組みなど報告します



追加企画決定！！

【食品の放射線量測定】を実施します

地域に住む方が食品の放射線測定が可能な機器を購入し、今回、ご協力をいただけることになりました。測定器はALOKAのシンチレーションサーベイメータTCS-172Bです(写真)。この機器の測定下限値は198ベクレル/kgのため、あくまでも簡易測定になりますが放射線の有無はわかります。

食品測定には、講師の生井兵治先生も参加予定です。

【参考】

現在、国が示している放射性セシウムの暫定規制値は飲料水200ベクレル/kg、野菜・穀類等は500ベクレル/kgです。昨年12月に厚労省が新規規制値を公表(飲料水10ベクレル/kg・一般食品100ベクレル/kg)、今年4月から適用する方針となっています。

※測定希望の飲食物がありましたら、ご持参(630g)下さい。
(講演会と同様に、事前の申し込みが必要です)。



※参加費：無料

※定員：50名

(お席が確保できない可能性がありますので、事前の申し込みをお願い致します)

※申し込み方法：下記メール or 電話 or twitterよりお願い致します。

※講演は2時間を予定しています。食品測定は4時からの予定です。

※会場内に保育室を用意しています。ご希望の方はご相談下さい。

※連絡先：浦野さとみ E-mail：urano@jcp-seven.jp

携帯：090-8049-4784

twitter：http://twitter.com/urano_satomi

※ブログ毎日、更新中！ぜひ、ご覧下さい。http://jcp-seven.jp/uraura/